

第73回国民体育大会 栃木県選手団の成績

総合成績

		冬季大会得点	本大会得点	合計得点		順位
天皇杯	今大会	35(30)	440.5(370)	475.5(400)	875.5	28位
	前大会	89(30)	475(370)	564(400)	964	21位
皇后杯	今大会	0(20)	188.5(330)	188.5(350)	538.5	26位
	前大会	0(20)	121(320)	121(340)	461	39位

※()は参加得点

第73回国民体育大会を振り返って

(1) 冬季大会

スケート競技では、スピードスケートの前回大会入賞者に期待がかったが、得点は参加点の10点にとどまった。また、ショートトラックやフィギュアにおいても、各選手の頑張りには期待したが、入賞には至らなかった。

しかしながら、ショートトラック少年女子の岡部紅巴選手(北犬飼中3年)の準決勝進出やフィギュア少年女子の佐藤紗菜選手(小山第二中3年)の25位等、今後の活躍を期待させる力強い戦いぶりも見られた。

アイスホッケーでは、成年男子(栃木県選抜)において、昨年の少年男子準優勝メンバーが2選手加わり、若手とベテランのバランスのとれたチームで上位進出を目指したが、2回戦で今大会で優勝した強豪北海道に敗れた。

一方、昨年、17年ぶりの決勝進出を果たした少年男子(日光明峰高校)は、今大会も順当に勝ち上がり、2年連続の決勝進出を果たしたが、14連覇中の強豪北海道を打ち崩せず、惜しくも準優勝。種目別総合成績では天皇杯45位を獲得し、神奈川県と並んで4位となった。

スキー競技では、各選手が全力で競技に挑んだが残念ながら入賞者を出すには至らなかった。

(2) 関東ブロック大会

今年も関東各都県によるハイレベルな競技が行われた。本県選手団は関東ブロック大会31競技中(アイスホッケー競技を除く)、20競技33種別において本大会への出場権を獲得した。関東ブロック全体の代表枠数が昨年より少ないにもかかわらず、通過競技数及び通過種別数は大幅に増加した。

今大会においては、昨年の愛媛国体で優勝したホッケー競技成年男子・ソフトボール競技成年男子が惜しくも敗退したが、サッカー競技成年男子や剣道競技成年女子が5年ぶりに通過するなど、目覚ましい活躍が多く見られた。関東ブロックの高い競技力に加え、本大会開催を翌年に控える茨城県の台頭により、依然として関東ブロックを突破するのは容易ではないが、「いちご一会とちぎ国体」に向けた強化の成果が現れてきていると思われる。

福井国体では、関東ブロックを全種別で突破した弓道競技が競技別総合優勝も射程圏内であるほか、インターハイ優勝選手を中心とするホッケー少年男子やホッケー成年女子・少年女子、ゴルフ競技少年男子、山岳競技少年男子などの団体種目で大量得点が期待できる。また、ライフル射撃競技やボクシング競技、馬術競技などにおいても例年同様の上位入賞を期待したい。

(3) 本大会

今大会は、女子種別の活躍が目立つ大会であった。水泳競技では、成年女子の榎本選手が高飛込・飛板飛込で2冠を達成し、少年女子B100m平泳ぎでは高橋選手が第1位に輝いた。また、馬術競技成年女子の広田思乃選手が二段階障害飛越で、弓道競技少年女子の栃木県選抜でも堂々の第1位となった。また、バドミントン競技少年女子やホッケー競技少年女子が3位入賞を果たす等、昨年の鬱憤を晴らす活躍が見られた。

男子種別では、山岳競技少年男子の茂呂居・川又ペアがボルダリングで第1位となり、弓道競技の成年男子と少年男子が近似的と遠的の両方で2冠を達成した。また、ライフル射撃競技成年男子の小林郁弥選手やウェイトリフティング成年男子の山根大地選手、馬術競技成年男子の広田龍馬選手等が上位入賞を果たし、期待どおりの成績を収めた。

今大会は、昨年よりも関東ブロック予選通過競技・種別数を大幅に伸ばし、大きな期待が寄せられた大会だったが、接戦で惜しくも敗退する競技が多く見られ、総合成績は天皇杯28位・皇后杯26位という結果に終わった。今後も多くの競技・種別が関東ブロック予選を突破し、本大会での経験値を高めていくことが4年後の「いちご一会とちぎ国体」での活躍につながると思われる。

(4) 総評

目標である天皇杯・皇后杯15位以内(TochigiVictoryPlanより)に向けて、各競技、熱戦を繰り広げたが、総合成績は天皇杯28位・皇后杯26位という結果になった。

水泳競技では、成年女子の榎本選手が高飛込(三連覇)と飛板飛込で2冠を達成し、少年女子B100m平泳ぎでは高橋選手が第1位に輝いた。山岳競技においては、世界レベルで活躍する檜崎兄弟の後継者、茂呂居・川又ペアが少年男子ボルダリングで第1位となり、馬術競技では成年女子の広田選手が二段階障害飛越で第1位となった。さらに、本県のお家芸である弓道競技においては3種別5種目で第1位となり、競技別総合成績において堂々の第1位に輝いた。ライフル射撃競技成年男子の小林選手や馬術競技成年男子の広田選手は二連覇の期待が掛かったが惜しくも第2位。ゴルフ競技では、全3種別で4位入賞を果たした。

また、入賞が期待されたホッケー競技少年男子やサッカー競技成年男子、軟式野球競技成年男子が惜しくも初戦敗退したものの、バドミントン競技少年女子やホッケー競技成年女子、少年女子の上位入賞といった女子種別の活躍が見られた。

4年後に控える「いちご一会とちぎ国体」に向けて、競技団体や選手の意識は高まってきている。天皇杯・皇后杯の獲得という共通の目標を達成するためにも、競技団体と関係機関が共に手を携え、一層の強化にあたっていくことが重要と考える。

入賞者一覧

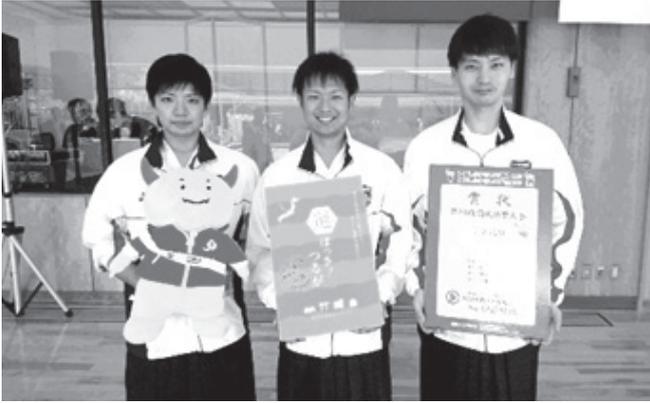
1 冬季大会

No.	競技名	種別	氏名	種目	順位	得点	競技別得点
1	アイスホッケー	少年男子	栃木県（日光明峰高校）		2	35	35

2 本大会

No.	競技名	種別	氏名	種目	順位	得点	競技別得点	
1	陸上競技	少年女子 A	大島 愛梨	400m	5	4	6	
		成年女子	神山 結衣	円盤投	7	2		
2	水泳	(競泳)	少年女子 B	高橋 奈々	100m 平泳ぎ	1	8	50.5
			少年男子 A	遠藤 光	400m 自由形	2	7	
			成年男子	水沼 尚輝	100m バタフライ	3	6	
			成年女子	清水 咲子	200m 個人メドレー	3	5.5	
		(飛込)	少年女子 A	笹原世玲菜	100m 自由形	5	4	
			少年女子 A	笹原世玲菜	50m 自由形	6	3	
			成年女子	岸 愛弓	100m 平泳ぎ	8	1	
			成年女子	榎本 遼香	高飛込	1	8	
3	ホッケー	少年女子	栃木県（今市高校）	団体	3	44	84	
		成年女子	栃木県選抜	団体	4	40		
4	ボクシング	少年男子	平塚駿之介	フライ級	2	7	20.5	
		少年男子	加藤 千龍	ミドル級	3	5.5		
		成年男子	黒柳 禅	ミドル級	3	5.5		
		成年男子	佐野 善則	ライトフライ級	5	2.5		
5	レスリング	少年男子	鷲頭 海成	フリー 125kg	3	5.5	13	
		成年女子	東川 加奈	フリー 53kg	5	2.5		
		成年男子	鹿子嶋 功	フリー 61kg	5	2.5		
		成年男子	石川 瑞樹	フリー 125kg	5	2.5		
6	ウエイトリフティング	成年男子	山根 大地	69kg 級スナッチ	2	7	21	
		少年男子	小泉 直也	56kg 級クリーン&ジャーク	2	7		
		成年男子	山根 大地	69kg 級クリーン&ジャーク	5	4		
		少年男子	小泉 直也	56kg 級スナッチ	7	2		
		少年男子	落合 良太	69kg 級スナッチ	8	1		
7	自転車競技	少年男子	田崎 隼翔	ケイリン	3	6	7	
		少年男子	川上 隆義	スプリント	8	1		
8	馬術	成年女子	広田 思乃	二段階障害飛越	1	8	39	
		成年男子	広田 龍馬	国体大障害飛越競技	2	7		
		少年	長谷川晶子	トップスコア	2	7		
		成年男子	増山 誠倫	ダービー	3	6		
		成年男子	広田 龍馬	トップスコア競技	5	4		
		少年	鶴見 汐花	二段階障害飛越	6	3		
		成年男子	増山 誠倫	スピードアンドハンディネス	7	2		
		少年	長谷川晶子	スピードアンドハンディネス	8	1		
9	バドミントン	少年女子	海老原・佐川・興石	団体	2	21	21	
		成年男子	柿崎・寺崎・大塚	近的	1	24		
10	弓道	成年男子	柿崎・寺崎・大塚	遠的	1	13.5	78	
		少年男子	熊倉・鎗木・鈴木	近的	1	13.5		
		少年男子	熊倉・鎗木・鈴木	遠的	1	13.5		
		少年女子	所・村中・三瓶	近的	1	13.5		
		成年男子	小林 郁弥	50m3×40M	2	7		
11	ライフル射撃	少年男子	野沢 勇翔	BRS30JM	3	6	18	
		成年男子	村山 敦史	CP60M（速射）	5	4		
		少年男子	野沢 勇翔	BRS60JM	8	1		
		少年男子	茂呂居・川又	ボルダリング	1	24		
12	山岳	少年男子	茂呂居・川又	リード	4	15	39	
		少年男子	茂呂居・川又					
13	ゴルフ	女子	横山・和久井・池羽	団体	4	15	43.5	
		少年男子	前田・池田・豊田	団体	4	15		
		成年男子	鈴木・前田・篠崎	団体	4	13.5		

☆☆☆ 第74回国民体育大会主な活躍 ☆☆☆



弓道競技成年男子
近的・遠的
優勝 栃木県(大塚 寺崎 柿崎)



弓道競技少年男子
近的・遠的
優勝 栃木県(熊倉 鎬木 鈴木)



山岳競技少年男子
ボルダリング
優勝 栃木県(茂呂居 川又)



馬術競技
二段階障害飛越
優勝 広田 思乃



水泳競技成年女子
高飛込 飛板飛込
優勝 榎本 遼香(中央)



水泳競技少年女子B
100m平泳ぎ
優勝 高橋 奈々(中央)

いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会

夢を感動へ。感動を未来へ。 2022